

蓮華寺池第三十二回藤まつり

出展作品をお借りしました

菜の花に
居ながらにして
藤まつり 川口節子

藤を貸して下さった、
未塚様のご親戚の未塚忠浩様

菜の花

特養版

平成27年5月号
社会福祉法人聖啓会
特別養護老人ホーム菜の花



赤い靴の歌をみんなで歌いました 4月27日(水)



4月10日(水) 大正琴披露

甘く懐かしい音色が郷愁を誘います



4月24日(金) ピアノ/フルートのコンサート

福地奈津子先生のピアノとデイ職員のフルートで唱歌を中心に演奏、皆様も口ずさまれ和やかムードです

ひとこと

梅原達

今回は私の自己紹介を兼ねて
当コラムを担当させて頂きます。
私の介護職歴は約3年、当施設
開設時がスタートラインです。
前職はサラリーマン、とても良き先輩方に恵まれて
今の自分があると常々思っています。その先輩方の
数々の名言(迷言)が支えになって今の自分が成り立
っているというのも過言ではありません。
その中の一つをご紹介します。
【人生いくつになっても成長することができる】
ちょっと浪花節が入った言葉ですが、日々成長して
いくなさい、人間は死ぬまで成長できる生き物なんだ
よという教えだと解釈しています。
介護職としてスタートしたのが
五十手前、知力の衰えは否めません(笑)
では、いま何を成長させることができるかと考える
と心の置き方といえますか心の広げ方といえますか、
認知症の方や身体の不自由な方をしっかりと受け止
めるだけの器を自分の中にしっかりと作ることが今
の自分に求められている成長ではないかと考え、日々
菜の花で働かせていただいている次第です。
この成長するための糧はやはり入居者様と真摯に
向き合い、時には感性を鋭く、時には緩く
態度を変えながら得られる経験です。
先日、居室に飾られた一枚の写真をみて得たものか



4月2日 開設記念日 松花堂弁当



4月20日 筍ご飯

衣替えの季節です。
衣替えの季節ですね。
冬物と夏物の衣類・寝具の交換をお願い致しま
す。お持ちになる際には、必ず記名されているか
確認をお願い致します。
散歩に出る機会も多くなります。
帽子がない方は、ご用意をお願いします。

これからの行事のご案内
九月 六日(日曜日) 敬老会
九月十九日(土曜日) 菜の花まつり
**負担限度額認定証・医療保険
証の有効期限が近い方**
七月末で認定証や医療保険証の有効期限が切れる
方が多くいらっしゃいます。有効期限が切れる
前に新しい物を菜の花までお持ちください。
**菜の花作品展をご覧いただき、
ありがとうございます。**
おかげさまで、菜の花作品展を沢山の皆様にご
覧いただくことが出来ました。
見る側も、作る側も楽しい刺激になりました。
これからの倶楽部にも力が入ります！

あります。

認知症の方の今をみるのではなく、
その方が輝いていた時を想像しなが
ら接しなければならぬということ
です。私たちは認知症を発症した状
態の入居者様本来の姿をあまり知ら
ないで接しています。希に入居者様と接する事を大
変に思うこともあるのですが、入居者様の今の姿が
その方の本来の姿ではないと
しっかりと認識し接していくことで
大変さを意識しなくなりました。
このことは手前味噌ながら自分が少しばかり成長
した証かなと思っています。ちょっと偉そうなこと
を書いてしまいました(笑)
さて、介護職に就いてもう三年、いやまだ三年と
いったところでしょうか。五十を越えてもまだまだ
自分には伸び代があると信じていたいですね。
最後に一言、この介護という仕事、入居者様への
接し方ひとつで入居者様に
変化が見られます。
奥が深い、やりがいの
ある仕事です。

介護職員からのリクエスト
ご家族の皆様にお願いがあります。
入居者様の輝かれていらした時の、いや少しだ
けでも幸せを感じていらした時の写真や持ち物を
お持ち頂けたらと思います。
より具体的に入居者様本来の姿を
理解することで介護職の認識が
変わり、より良い関係を作っ
て行くことが出来ると思います。
また思い出話などもしていた
だければ大変有り難く存じます。



今月以降の行事予定 (現在決定分：変更になる場合もあります)		6月10日 書道倶楽部	
5月20日	華道倶楽部	12日	手芸倶楽部
22日	大正琴・オカリナ・フラダンス披露	17日	華道倶楽部
23日	静浜基地航空祭見学	24日	書道倶楽部
27日	書道倶楽部		
29日	絵手紙倶楽部 舌鼓倶楽部新茶会		

発行：社会福祉法人聖啓会特別養護老人ホーム菜の花
電話：054-646-7087 http://seikeikai.info/
編集：中村

